

第57回日本医療・ 病院管理学会学術総会

日時：11月2日(土)～4日(月・祝)

会場：朱鷺メッセ（新潟市中央区）

プログラム：特別講演1「医療と介護のこれから」眞鍋馨（厚生労働省老人保健課課長）／2「佐久総合病院の分割再構築と今後の課題」伊澤敏（佐久総合病院総括院長）／3「人口減少に適した医療・介護の方向性：ケア・コンパクト・シティ構想」小黒一正（法政大学教授）／「地域医療連携推進法人を含む医療政策の最近の動向について」天辰優太（厚生労働省医政局）／メインシンポジウムⅠ「高齢社会とこれからの医療もおける質の評価」／Ⅱ「予防からみた持続可能な自治体の在り方と医療の役割」／第57回学術総会特別企画「地域経済循環分析からみた医療の役割」／シンポジウム1「持続可能な地域医療を支える『事業承継』」／2「病院機能評価を巡る新たなステージ」／市民公開講座1「スマートウエルネスみつけの実現を目指して」久住時男（新潟県見附市長）／2「医師の働き方改革と地域医療について」丸山明則（新潟県医師会理事）／3「世界の病院の動向から考えるこれからの医療」寛淳夫（日本医療・病院管理学会理事長）／4「奈良時代の働き方改革」馬場基（奈良文化財研究所都城発掘調査部主任研究員）／他

問い合わせ先：学会サービス内運営事務局

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101

☎ 03-3496-6950

FAX 03-3496-2150

✉ jsha57@gakkai.co.jp

URL www.gakkai.co.jp/jsha57/index.php

木村看護教育振興財団 2019年度東京講演会

日時：11月9日（土）

会場：新霞が関ビル全社協・灘尾ホール（東京都千代田区）

プログラム：講演1「超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と看護への期待」石川ベンジャミン光一（国際医療福祉大学教授）／2「Education and Professional Development」Dawn E. Nelson (MSN, RN, Nurse Administrator)／3 平原優美（日本訪問看護財団事務局次長）／4 杉町圭蔵（遠賀中間医師会おんが病院・おかざき病院看護部長）／5 本間之夫（日本赤十字社医療センター院長）、正源寺美穂（金沢大学老年・リハビリテーション看護学助教）／他

定員：400名

問い合わせ先：財団事務局 小村志津乃、中川玲子、小川美生
〒133-0033 東京都文京区本郷5-25-14 8階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

URL www.nurseed.jp

ネウボラでの 子育て・家族支援 2019年度第2回講演会 「“子育て支援 Let's Talk! 子どものことを 話そう”の実践」

日時：12月1日（日）13:00～16:00

子育て支援 Let's Talk! 子どものことを話そう (LT) とは：ソラントウス氏（児童精神科医）が開発した支援法。フィンランド社会保健省は保健・医療・福祉サービスでの実施を推奨している。初めは、精神疾患をもつ親と子ども・家族への支援として用いられたが、最近では、ネウボラ、学校、幼稚園、保育園など、多様な場で実践されている。

プログラム：ビデオメッセージ トウッティ・ソラントウス（フィンランド国立健康福祉研究所）／「日本でのLTについて」上野里絵（東京医科大学准教授）、長田洋和（専修大学教授）／講演「ネウボラでの子育て・家族支援—“子育て支援 Let's Talk! 子どものことを話そう”の実践」ミンナ・エバスオヤ／ディスカッション

講師について：ミンナ・エバスオヤ氏は、フィンランドのエスポー市にあるネウボラで保健師の経験を持ち、現在も子どもがいる家族の専門家として、子育て・家族支援に取り組んでいる。また、トレーナーとして人材育成にも関わっている。日本伝統美術を専門とする文化博士でもあり、日本への造詣も深い。

会場：東京医科大学第一看護学科棟（東京都新宿区）

対象者：子育て支援に関わる専門家
定員：100名（先着順）

申し込み方法：下記メールアドレス宛に、氏名、所属、連絡先（電話番号あるいはメールアドレス）を送信
✉ ltws2019@gmail.com

第2～4回災害時の 妊産婦支援セミナー 第2回（兵庫）

日時：2020年1月19日（日）

会場：神戸市内

第3回 (岩手)

日時：2020年2月15日(土)

会場：盛岡市内

第4回 (東京)

日時：2020年3月14日(土)

会場：都内

定員：各100名

【以下、共通】

プログラム：講義①「赤ちゃん自分を守る!—被災から72時間までにやらなければならないこと」押栗泰代(ナースングリエイト代表取締役)、「ベビー防災包括セットの紹介」押栗良輔／②「子どもと家族に我慢を強いけない避難生活のために—改善ポイントはココ!」(グループワーク・実習)吉田穂波(神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーションスクール設置準備担当教授)

対象：保健師、助産師、看護師、医療福祉関係者など

受講料：各1万円

申込方法：下記URLから

問い合わせ先：日本家族計画協会研修担当

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館

☎ 03-3269-4785

FAX 03-3267-2658

URL www.jfpa.or.jp/seminar

2020年度

木村看護教育振興財 看護研修等助成募集 海外看護研修助成

研修時期・期間：2020年9月中旬から渡航日数を含めて約3週間

研修先：メイヨークリニック(米国ミネソタ州ロチェスター)

応募資格：次の全てに該当する者：

- ①日本在住で看護師・助産師・保健師のいずれかの資格をもっている、
- ②看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事、
- ③心身と

もに健康、④関係所属長の推薦がある、⑤TOEIC 600点以上、TOEFLの所定の点数(CBT 173点以上またはIBT 61点以上)またはIELTS 5.0点以上

募集人員：10名

研修方法：目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学
助成範囲：研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費

申込締切日：2020年1月23日(木)必着

選考結果：3月下旬に通知

看護研究助成

助成対象：看護の質的發展・充実に期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの(共同研究歓迎)

研究分野：基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、他

応募資格・要件：①日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人、または前者を共同研究者に含むグループ(満たしていない場合は受け付けない、教員・大学院生のための申し込みは対象とならない)、②倫理的に許される研究である、③関係所属長の許可・推薦がある、④研究の成果は関係学会へ発表する

助成金額：1件100万円を限度

助成金の使途および報告：①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費、交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む(給与形式の人件費は対象から除外、助成金は年度を超えて支出してもかまわない)、②助成金の使途については正規の報告書とともに報告

申込締切日：2020年1月23日(木)必着

選考結果：3月下旬に通知

助成金の贈呈：6月中旬予定

専門看護師(CNS)奨学金

募集分野：2019年9月時点で日本看護協会専門看護師制度委員会が特定する分野：がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護

支給対象者：看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、次の事項を満たしている者：①日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者、②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額：年額60万円

支給期間：1年間(4月から翌年3月まで)

支給条件：看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で2021年3月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者。

申込締切日：2020年1月23日(木)必着

選考結果：3月下旬に通知

【以下、共通】

問い合わせ先：公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 8階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

URL www.nurseed.jp